

令和5年9月吉日

調査委託者 富山県厚生部生活衛生課

調査受託者 株式会社ジェック経営コンサルタント

「動物愛護に関する県民意識調査」ご協力のお願い

富山県では『富山県動物愛護管理推進計画』に基づき、「人と動物の共生する社会」の実現に向けて、様々な取組みを行っています。その中核を担う施設である富山県動物管理センターは、立山町（常願寺川公園隣接）に犬猫の収容・譲渡・殺処分施設として昭和57年に設置されました。その後、殺処分頭数は大きく減少し、現在は犬猫の譲渡や飼い主への飼養方法の指導、動物愛護の普及啓発を中心に行っていますが、このような愛護事業を行うには設備面や機能面での課題があり、現在、県では動物愛護の新たな拠点としての動物管理センターの役割について検討しています。本調査は、県民のみなさんの動物愛護に関する実態やご意見をお伺いし、今後の県の施策などの基礎資料とするために実施するものです。

ご回答についてのお願い

- (1) 調査対象者ご自身にご回答いただきますようお願いいたします。
- (2) 下記 URL または QR コードからアクセスしていただき、ご回答ください。

<https://questant.jp/q/animal2023>



所要時間：5分程度です。(最大18問)

回答期限：令和5年9月18日(月)

★期限までにご回答いただいた方に抽選で粗品を進呈いたします。(ご希望の方はお名前・ご住所をご入力ください。発表は発送をもって代えさせていただきます。)

調査対象となる方の選定については、クジ引き方式による統計的な方法で無作為に抽出したものです。この調査の結果については、県の施策などに活用するために広く公表する予定ですが、個人に関する情報が公表されることはありませんので、ご協力をよろしくお願いいたします。

※ご不明な点がございましたら、下記問い合わせ窓口までご連絡ください。

◎調査全般について…富山県厚生部生活衛生課（食品乳肉係）

電話：076-444-3230（平日午前8:30～午後5:15）

◎回答方法について…株式会社ジェック経営コンサルタント（担当：小見・濱田）

電話：076-444-0035（平日午前8:00～午後5:00）

（この調査は富山県が株式会社ジェック経営コンサルタントに委託しております。）

問1 あなたは動物が好きですか。

- 1 好き
- 2 どちらかといえば好き
- 3 どちらかといえば嫌い
- 4 嫌い
- 5 関心がない

問2 現在、あなたは動物を飼育していますか。(複数選択可)

- 1 犬 → 問3へ
 - 2 猫 → 問4へ
 - 3 ウサギ
 - 4 モルモット・ハムスター
 - 5 その他の哺乳類
 - 6 鳥類
 - 7 爬虫類
 - 8 両生類
 - 9 魚類
 - 10 以前は飼育していたが、現在は飼育していない
 - 11 今までに一度も飼育したことがない
- 問9へ
- 問11へ

【犬または猫を飼っている方のみお答えください】

問3 【犬を飼っている方のみ】犬はどこで入手しましたか。(複数選択可)

- 1 ペットショップ等販売店
- 2 拾った・迷い込んできた
- 3 ブリーダーから
- 4 知人・友人から
- 5 動物管理センター、厚生センター、保健所から
- 6 動物愛護団体から
- 7 自家繁殖(飼い犬が産んだ)

問4 【猫を飼っている方のみ】猫はどこで入手しましたか。(複数選択可)

- 1 ペットショップ等販売店
- 2 拾った・迷い込んできた
- 3 ブリーダーから
- 4 知人・友人から
- 5 動物管理センター、厚生センター、保健所から
- 6 動物愛護団体から
- 7 自家繁殖(飼い猫が産んだ)

問5 飼っている犬・猫に不妊・去勢手術を実施していますか。

- | | | |
|-------------------|---|--------------|
| 1 全てに実施している | } | →問7へお進みください。 |
| 2 1歳以上にはすべて実施している | | |
| 3 オスにはすべて実施している | } | →問6へお進みください。 |
| 4 メスにはすべて実施している | | |
| 5 いずれにも実施していない | | |

問6 不妊・去勢手術を実施していない理由は何ですか。(複数選択可)

- 1 必要だとは思わないから
- 2 子犬や子猫を産ませたいから
- 3 かわいそうだから
- 4 経済的な理由
- 5 動物の健康上の問題(動物が高齢や病気のため手術が難しい)
- 6 今後実施予定

問7 迷子や災害などのもしもの時に備えるため、令和4年6月からペットショップなどで販売される犬猫についてマイクロチップの装着が義務化されましたが、飼っている犬・猫の所有明示(所有者がいるとわかる措置…鑑札や迷子札がついた首輪等)をしていますか。

- | | | |
|------------------|---|---------------|
| 1 はい(首輪のみ) | } | → 問9へお進みください。 |
| 2 はい(マイクロチップのみ) | | |
| 3 はい(首輪とマイクロチップ) | | |
| 4 いいえ | | → 問8へお進みください。 |

問8 所有明示をしていない理由は何ですか。(複数選択可)

- 1 室内で飼っているので必要ない
- 2 首輪が何かに引っかかることが怖いから
- 3 マイクロチップを入れるのがいやだから
- 4 迷子札に個人情報を記載したくないから
- 5 特に理由はない

問9 動物を飼い続けることに関して心配していることはありますか。(複数選択可)

- 1 動物の病気や死亡により、つらい思いをするのではないか
- 2 転居や自分が高齢になることにより、世話ができなくなるのではないか
- 3 近隣に迷惑がかかるのではないか
- 4 動物が病気になったり高齢になることで、経済的負担が重くならないか
- 5 災害時に同行避難ができるかどうか
- 6 いいえ(特に心配していることはない)

問10 問9の心配に対し、用意していること、備えていることはありますか？

(複数選択可)

- 1 動物の病気や介護について情報を収集している
- 2 飼い主同士の交流を行っている
- 3 自分が高齢になった時に備え、飼育をサポートしてくれる人を用意している
- 4 自分に何かあった時に備え、預け先や引き取り手を用意している
- 5 自分に何かあった時に備え、遺言、負担付遺贈や信託契約などを準備している
- 6 動物にかかる医療費などに備え、保険に加入したり貯金をしている
- 7 災害時に備え、動物の防災用品（キャリー、フードなど）を持ち出せるようにしている
- 8 災害時に備え、避難所以外の避難先を想定・用意している（親類宅など）
- 9 特になし

【現在動物を飼っていない方のみお答えください】

問11 飼っていない理由は何ですか。(複数選択可)

- 1 動物は好きではないから
- 2 動物が死んで、つらい思いをしたくないから
- 3 動物を飼えない住宅環境だから
- 4 長期外出できなくなるから
- 5 世話をする時間がないから
- 6 最後まで世話をできない可能性があるから
- 7 家族が反対するから
- 8 近所への迷惑や、近所からの苦情が心配だから
- 9 動物の飼育方法がよくわからないから
- 10 転居する可能性があるから
- 11 動物病院の治療費が高いから
- 12 日常の飼育管理にお金がかかるから
- 13 亡きがらを処理することができないから
- 14 動物が高価だから
- 15 自分や家族が動物アレルギーだから
- 16 その他

問12 今後動物を飼いたいと思いますか？

- 1 環境や状況が許せば飼いたい
- 2 自分では飼えないが、動物に会える機会があれば会いたい
- 3 動物は飼いたくない

【全員お答えください】

問13 今後、行政は動物愛護に関してどのような取り組みを強化するべきだと考えますか。
(5つまで選択可)

- 1 犬の登録・狂犬病予防注射の推進
- 2 飼えなくなった犬や猫の引取りを求める飼い主への指導
- 3 動物取扱業者(※1)への指導
- 4 行政が引き取ったり保護した犬や猫の譲渡事業
- 5 飼い犬や飼い猫に対する不妊・去勢手術への支援
- 6 飼い主のいない猫に対する不妊・去勢手術への支援
- 7 放浪している犬の保護
- 8 動物を不適正飼養あるいは虐待していると思われる飼い主への指導
- 9 危険な動物を飼育する人や施設への監視
- 10 犬や猫の正しい飼い方を教える講習会の開催
- 11 ペットの飼い方等に助言を行う指導者の育成
- 12 動物愛護団体との協力、ボランティアの育成
- 13 アニマルセラピーなどの福祉・医療などへの動物の活用
- 14 ペットの防災対策の啓発
- 15 被災動物の受け入れや救護への備え
- 16 飼い主のいない猫に餌を与える人への指導
- 17 地域猫活動(※2)の推進

※1 動物取扱業：販売（ペットショップ、ブリーダー）、保管（ホテル、美容室）、展示（猫カフェ、動物園等）、貸出、訓練などの業態があります。

※2 地域猫活動：地域に住み着いている飼い主のいない猫を、住民の理解と協力のもと、地域猫活動団体が適正に飼養・管理することで、猫の数を増やさないようにし、ふん尿被害などのトラブルを解決していく活動です。

問14 保護犬・猫の譲渡等を行っている「富山県動物管理センター」を知っていますか。

- 1 知っており、行ったことがある
- 2 名前は知っているが、行ったことはない
- 3 知らない

問15 「富山県動物管理センター」のホームページを閲覧したことがありますか？

- 1 ある
- 2 ない



◀【とやま動物愛護】ホームページ
ぜひご覧ください。

富山県動物管理センターは、立山町（常願寺川公園隣接）に昭和 57 年に犬猫の収容・譲渡・殺処分施設として設置されました。その後、殺処分頭数は多い年で犬 約 4,900 頭、猫 約 2,900 頭でしたが、令和 4 年度には、犬 2 頭、猫 23 頭まで大きく減少しました。殺処分の理由は、交通事故や感染症等で治癒見込みがない動物の自然死の安楽殺や自然死となっています。一方で令和 4 年度の譲渡頭数は犬 11 頭、猫 87 頭で、近年は収容頭数に対する譲渡頭数の割合が高まっており、設置当初の処分施設としての役割は小さくなっています。

近年、動物愛護思想の高まりから、業務が犬猫の譲渡事業や飼い主への飼養方法の指導、動物愛護の普及啓発が中心となっていますが、愛護事業を行うには設備面（収容スペースの不足など）や機能面（研修、啓発機能など）での課題があり、県では動物愛護の新たな拠点となるよう動物管理センターの設備充実について検討しています。

**問 16 今後、動物管理センターに、どのような施設・設備の充実を図ればよいと思いますか？
（5 つまで選択可）**

- 1 譲渡動物を自由に見学できる部屋
- 2 譲渡動物とふれあえる部屋
- 3 譲渡前の動物に不妊・去勢手術を実施する手術室
- 4 現在よりもたくさんの動物を保護できる部屋
- 5 動物の飼い方や病気、ペット防災等について学べる部屋
- 6 社会科見学などに対応できる施設
- 7 ボランティアが活動できる部屋
- 8 多目的ルーム（イベントなどの開催場所）
- 9 災害備蓄倉庫
- 10 ドッグラン

お答えいただいたことを統計的に分析するため、下記についてご回答をお願いいたします。

F1 年齢 あなたの年齢は満でおいくつですか。

- | | | | | | |
|---|--------|---|--------|---|--------|
| 1 | 18～29歳 | 2 | 30～39歳 | 3 | 40～49歳 |
| 4 | 50～59歳 | 5 | 60～69歳 | 6 | 70歳以上 |

F2 調査地点 あなたのお住まいの市町村はどちらですか。

- | | | | | | | | | | |
|----|-----|----|-----|----|------|----|-----|----|-----|
| 1 | 富山市 | 2 | 高岡市 | 3 | 魚津市 | 4 | 氷見市 | 5 | 滑川市 |
| 6 | 黒部市 | 7 | 砺波市 | 8 | 小矢部市 | 9 | 南砺市 | 10 | 射水市 |
| 11 | 舟橋村 | 12 | 上市町 | 13 | 立山町 | 14 | 入善町 | 15 | 朝日町 |

F3 住居の種類

- | | | | | | |
|---|------------------|---|-----------------|---|--------------|
| 1 | 持ち家（一戸建て） | 2 | 持ち家（共同住宅） | 3 | 持ち家（長屋建・その他） |
| 4 | 民営の賃貸住宅（設備専用） | 5 | 民営の賃貸住宅（設備供用） | | |
| 6 | 公営の賃貸住宅 | 7 | 都市再生機構・公社等の賃貸住宅 | | |
| 8 | 給与住宅（社宅・公務員住宅など） | 9 | 借間 | | |

抽選に参加ご希望の方は、お名前・ご住所を入力してください。

調査はこれで終了です。

多くの質問項目にご回答いただき、ありがとうございました。感謝申し上げます。